

Ⅵ 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	きぎょうくみあいげきだんかぜのこきゅうしゅう		
	企業組合劇団風の子九州		
代表者職・氏名	代表理事 仮屋祐一		
制作団体所在地	〒 814-0002		
	福岡県福岡市早良区西新5-5-13		
電話番号	092-841-7889	FAX番号	092-841-7896
ふりがな 公演団体名	げきだんかぜのこきゅうしゅう		
	劇団風の子九州		
代表者職・氏名	代表 仮屋祐一		
公演団体所在地	〒 814-0002		
	福岡県福岡市早良区西新5-5-13		
制作団体 設立年月	1993年 3月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 仮屋祐一 理事 浅野由美子、理事 川島二郎 理事 中寫 司、 監 事 矢野ひとみ	浅野由美子、川島二郎、山本佐助、小池勇治、玉木聡美、岩永ひろこ、小山 隼、高山洋輝、浦 美佳、寺崎花絵、稲永清音、市川澄玲、坂本慧介、仮屋祐一、矢野ひとみ、田川智士、鈴木恵美、村垣洋子、竹原尚史、伏貫哲也【合計20名】 ★加入条件等・18歳以上の健康な人、面接・オーディション有	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	仮屋祐一
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	鈴木恵美

制作団体沿革	企業組合劇団風の子九州は、1985年東京の劇団風の子から運営独立し「劇団風の子九州班」として福岡市に創立され、その後1993年に法人独立し現在に至る。 児童・青少年演劇の制作と上演・普及活動を行っている。 *2003年以降ほぼ毎年、文化庁委託・補助事業に採択実績あり。 *年間500ステージ以上、9万以上の子どもたちに観て頂いた実績あり。				
学校等における公演実績	【2020年度公演実績】 小学校公演：「このゆびと〜まれ！」9日16ステージ 「やだ、やだあっかんべ〜！」17日26ステージ 「どんぶらこっこ どんどこ亭」14日23ステージ 3作品合計 40日65ステージ 【過去実績】2019年度 小学校公演：「このゆびと〜まれ！」44日63ステージ 「やだ、やだあっかんべ〜！」42日59ステージ 「みんなの家」73日86ステージ 3作品合計 159日208ステージ				
特別支援学校における公演実績	【福岡県】福岡中央特別支援学校、南福岡特別支援学校、 福岡県立特別支援学校北九州高等学園、嘉穂特別支援学校 【長崎県】鶴南特別支援学校、大村特別支援学校、川棚特別支援学校、島原特別支援学校 希望ヶ丘高校特別支援学校、諫早東特別支援学校、諫早特別支援学校 【宮崎県】みなみのかぜ支援学校、赤江まつばら支援学校、清武せいりゅう特別支援学校、 くろしお支援学校、児湯るびなす支援学校、みやざき中央支援学校 【沖縄県】島尻特別支援学校、宮古特別支援学校 【福島県】大笹生支援学校 【広島県】広島県立呉南特別支援学校 ほか公演実績多数				
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有		
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有		
		※公開資料有の場合URL	なし		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	なし	
			PW:	なし	
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料			
		※公開資料有の場合URL			
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:		
		PW:			

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団風の子九州 】

対象	○	小学生(低学年)	-	中学生		
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	「なるほ堂ものがたり」公演					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	演 目:「なるほ堂ものがたり」 ・脚 本/山﹂本佐助 ・台 本・演出/あさのゆみこ ・美 術/山﹂本佐助 ・歯車製作/北川正憲 ・音 楽/曲尾友克 ・振 付/玉木聡美 (公演時間:75分)					
著作権	○	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	(あらすじ) 小学5年生の良太と聡は親友同士。放課後、いつも一緒に遊んでいたが、聡の塾の数が増えたので良太はつまらない。聡の塾のない日を狙って、聡の家に上がり込みますが、聡は一人でゲームに夢中。実は良太は聡に打ち明けなくてはならないことがある。一人暮らしのおばあちゃんの為に家族で引っ越すかもしれないということを言い出せない。でも、優柔不断な良太は親友との別れを切り出すことがなかなかできない。聡は、何か言いたそうなのに、言えないでいる良太に少しイライラしています。 そんなある日の夕方、母子家庭の聡は夕食用の弁当を買いにコンビニへ出かけます。良太も付き合いますが、途中二人は、いかにも怪しいおじいさん(実は未来から来た科学者)と出会います。好奇心旺盛な二人が後を付けていくと、「なるほ堂」という気味の悪い店に入っていきます。二人も中に入ると、そこには変な商品がいっぱい陳列されています。聡はお互いの心を入れ替える事ができるというチェンジ玉を買います。ある日、チェンジ玉で心を入れ替えた二人は、それぞれの家に帰って行きます。聡は戸惑いながらも賑やかな夕食の時間を過ごしますが、良太のお父さんが発した言葉に良太の聡にたいする意外な気持ちを知ることになります。それ以来、二人の関係は気まづくなり、取っ組み合いのけんかまで発展して、本音を発するお互い本音を吐露してしまいます。 前思春期の子どもたちの心の揺れを描いた作品です。二人が本心で語り合えるまでを描いています。 *2007年度、2008年度、2009年度文化庁「本物の舞台芸術体験事業」採択作品 *2010年度、2011年度文化庁「子どものための優秀舞台芸術体験事業」採択作品 *2012年、2014年度文化庁「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」採択作品 *【社会保障審議会推薦・児童福祉文化賞推薦】作品					
演目選択理由	再演の希望が多い演目です。初演は、2005年です。前年2004年、地元九州佐世保の小学校で6年生の女子が、同級生を殺害するという痛ましい事件が起こりました。この学校では毎年命を考える追悼集会が行われています。私たちは、この事件にもの凄いいショックを受けました。これまで、何回も公演してきた学校でもあり、もしかしたら二人とも私たちの演劇を観てくれたかもしれません。そこで、翌年、子どもたちのコミュニケーションをテーマにオリジナル作品を制作することにしました。当時、面と向かって本音を語り合えない子どもたちが多く存在し、小学生にもチャットなるものが進出しコミュニケーション手段として拡がっていました。今では更なる科学の進歩により、簡単に新しいツールが子どもたちに浸透してきて、友だちと面と向かって本音で語り合える機会がますます減ってきています。子どもたちの成長にとって、友だちはとても大きな存在です。子ども時代の体験は、大人社会を生きていく大きな財産になります。前回の公演の際、公演後子どもたちを体育館出口で見送っている時、先生ほどの体軀の6年生の男子が目涙をためて、良太にハグしてきました。この子の背景に何があるのか知る由も無いですが、この情景に劇団員一同、この演目の持つ力や価値を確信しました。6年ほど空けての再演ですが、子どもたちの求めているものは普遍です。益々行きづらい時代、子どもたちに必要で届けなくてはならない演目と確信します。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	・「どこでも音楽隊」というオルゴールのような商品から現れる音楽隊のメンバーとして参加。小さな箱を開けて、良太が今の気持ちをいうと、「どこでも音楽隊」の演奏と歌がはじまります。出演している子どもたちは良太の言った「ワクワク」の気持ちを音楽をダンスと言葉(歌)で表現します。シンプルな歌とダンスですが、楽しく盛り上がる場面です。(出演者10～40人) ・ラストは、テーマ曲を合唱します。舞台セットの大きな歯車がかみ合って初めて回ります。その前で子どもたちが歌うシーンは会場全体に感動の輪が広がります。(出演者10～40人) ・参加する子どもたちは、身近にあるもので簡単な衣装を先生方と考えて当日それをつけて出演します。ただ単に参加するだけでなく、自分たちで事前準備をする事で、本公演への期待感をもち本番を楽しむことができますと思います。 ・事前のワークショップは、仲間意識を高めるコミュニケーションワークと本番に向けての歌とダンスのレッスンになります。子どもたちにプレッシャーを与えないよう楽しいワークを心がけます。 【 別添あり 】					
出演者	・玉木聡美、中﹂ 司、おやまじゅん、稲永清音、寺崎花絵、仮屋祐一、坂本慧介 (出演メンバーが変わることがあります。)					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 7 名 スタッフ: 1 名 合 計: 8 名		機材等 運搬方法		積載量: 1 t 車 長: 7 m 台 数: 2 台	

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目 安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		3 時間程度	
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～11時	13時半～15時15分	0分	16時～18時	18時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		～40名			
	本公演		鑑賞人数:～500名。(本公演出演児童人数:～40名)			
ワークショップ 実施形態及び内容	①劇団側の自己紹介をします。 ②子どもたちの緊張をほぐすために、 <u>アイスブレイク</u> 的なゲームをします。 ③おおまかなストーリーを紙芝居形式で伝えます。 ④劇中の「どこでも音楽隊」のダンスと歌の練習をします。役者の芝居に合わせて、揃えられるよう練習します。 ⑤ラストのテーマ曲を練習します。					
ワークショップ 実施形態の意図	①子どもたちは思春期の入口にさしかかる頃、自我の目覚めと共に他者からの目を意識し始めます。そのことにより人前に立つ、または人前で話す、ましてや人前で演じるということに相当な <u>プレッシャーを感じる</u> 子どももいます。そこで演劇とは「ごっこ遊び」や「まねっこあそび」の延長であり、今回の舞台表現は「 <u>遊び</u> としてみんなで楽しんで演じてほしい」と伝えるためのワークを心がけます。 ②学校側としては、出演出来る児童を選抜するのが難しく、クラス全員で取り組みたいとの要望があります。そこで、二つの場面共、上限を40名として、ワークショップとその後の本番に向けての練習をクラス一丸で取り組んでもらい、クラスの団結という教育的効果に配慮します。					
特別支援学校での 実施における工夫点	各校、各子どもたちにより被支援の状況が異なるので、先生方と綿密な打合せを行い、 <u>表現方法の可能性</u> を探っていきます。 例としては、全員で鳴り物を持ってリズムをとりながら歌い、先生方が車椅子に一人ずつ付いての車いすダンスを披露したこともあります。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名	劇団風の子九州	】
児童・生徒の共演、参加 又は体験の形態	＊舞台美術 モチーフは歯車です。 冒頭、バラバラに配置され、置き場所を変えながら、場面を作りますが、最後のシーンは歯車が合体して一つになり、全部の歯車がかみ合って回ります。 その回転に合わせて、出演者が出演した子どもたちと一緒にテーマソングを歌います。 コミュニケーションがテーマなので、一人一人バラバラだった心が一つになる瞬間を表しています。   			
	＊ワークショップで練習する子どもたち 			
	＊リハーサルの様子 			
	＊音楽隊のポーズを決める子どもたち 			

子どものいるところどこへでもとんでいく

劇団 風の子九州

- 日本児童・青少年演劇劇団協同組合加盟
- 全国児童・青少年演劇協議会加盟
- アシテジ (国際児童青少年演劇協会) 加盟
- 福岡県文化団体連合会加盟

劇団紹介

劇団風の子九州は、1985年劇団風の子より独立して誕生した、九州の福岡に本拠を置く児童青少年演劇の専門職業劇団です。“子どものいるところ、どこへでもとんでいく”を合言葉に、九州・沖縄各地の街中や山間部の集落、点在する離島を駆け回っています。

90年からは国内だけでなく、韓国、中国、インドネシア、パキスタン、インド、オーストラリアなど、アジアを中心に海外公演にも出かけ、多くの人達との交流を深めています。

2002年からは、韓国の劇団サダリとの合同公演作品「マンナム」を創り上演してきました。アシテジ (国際児童青少年演劇協会) の国際フェスティバルinソウルでは日本代表としても参加しました。

これからも地域で、“子どもたちと共に未来を創る劇団”として、従来の演劇様式にこだわらず、遊びや日常生活の中から、新しい創造と表現の世界を追求し広げていきたいと思っています。

已れまでの作品



うたえ雨姫



準備完了！第1号計画



竜のとぶ冬



風の子あそびやとつびんちゃん



そのウタ、ほんと?



いらっやい



ちょっぴいのチョイス



ミロン



マンナム



3ちゅう very much!?



劇団 風の子九州

T814-0002 福岡市早良区西新5-5-13

TEL092-841-7889 FAX092-841-7896

ホムペ: <http://www.kazenoko-kyushu.or.jp>

E-mail: info@kazenoko-kyushu.or.jp

■北九州事務所011(725)3518 ■秋田事務所0186(63)147 ■東北事務所03(4658)8338 ■関東事務所03(426)1012 ■中部事務所059(234)147 ■関西事務所075(567)8507 ■中国事務所082(570)0215

劇団 風の子九州

המחיר

- 原案 台本プロジェクト(あさのゆみこ おやまじゅん
飯塚佑一 後藤尚子 山本佐助 中島 研)
■脚 色/山本佐助
■音楽 曲/尾友克 からくりや
■衣装設計/北川正恵(結縁屋)
■衣裳製作/りやうや
■制作 飯塚祐一
■美術協力/保坂真紀
■美術/小峯三奈



あらすじ いつも一緒にいるサトシとリョウタ。ふたりでゲームをしたりまんがを読んだりしている、仲の良い友達です。

ある日、町を歩いていると、不思議なおじいさんが目の前を通りすぎます。なんだか気になっっておじいさんをつけていくふたり。おじいさんは「なるほ堂」という店に入っていきます。…あれ、ちょっと待てよ。ここにこんな店はあった？ふたりが中をのぞくと、そこにはへんな物や不思議なものがいっぱい！彼らはさて、「なるほ堂」とはいったい…？彼らを待ちうけているものはなんでしょう。フアンタジックでリアルな冒険のはじまりです。

制作にあたって

制作にあたって

その昔、狼に育てられた姉妹がいました。彼女たちは発見された後、人間の社会で生活を始めますが、適応できず、早々に亡くなってしまったと聞いたことがあります。これが21世紀の現代なら「電化製品に育てられた子どもたちがいました」となるのでしょうか。

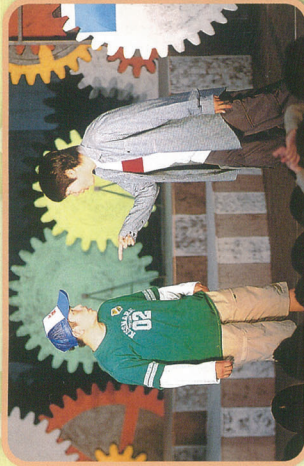
人は、生まれ、たさんの人たちと関わりてこそ人間としての成長が保障されます。わすれられないことはありますが、時には友達とけんかしたり、おとなから叱られたり、または仲間たちとちょっぴり悪いこともしながら、そうやって、自分自身を出したり、抑えたり、人を受けつづけたりの離れたりしながら、豊かな人間関係を築く力を養うのが子ども時代なのです。

「なるほ望ものがたりに」登場するたりの少年は、いつも一緒にいるあひまは、親友同士。ひよりは怖い、隣つきのまっもと怖い。だから本当の気持ちには言わない。そんなひよりが足を踏み入れた「なるほ望」は、さてこそ、なにか起こるのやら、子どもたちは「未来」です。未来は級らの手の中にあります。だからこそ、一度しかこない子ども時代を子どもとて、一度しかない人生を人間として生きる、わたしたち子どもは、そのための職業を学べる準備を持つて生きていかなければなりません。

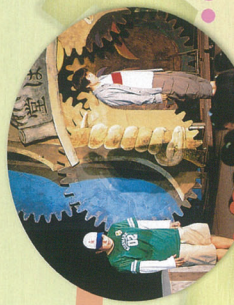
中学1年生のとき先生が言ったことをふと思い出した。「ひとは歯車。相手がいって自分がいてやと回り出す。ひとの力を借りて自分がいふんだよ」とこの発言は、毎年のようにボクシングチームでは道徳ド真中で「コミュニケーション。メールやネットでの会話、毎日おそほう」と放談後述しても、ゲームとマンガをそれぞれやるだけの「友達……そんな現代の子ともたはサチシとリョウタが、ゲームとマンガをそれぞれやるだけの「友達……そんな現代の子ともたはサチシとリョウタが、2200年の未来からやってきた旅人」なるは望田圭樹野三郎に出会って起きる大騒動。はてさてどうなる……？



演出のつづやま



サトシとリョウタ ふたりは親友…かな？



あれ、
ニナ-いの仲がギクシヤク



あやしいじーちゃんに会う。
桐野三郎
なるほ堂店主



なるほど道具はおもしろい。
買いまくってどんどん使っちゃえ!!



ふたりの運命やいかに!?

感想文

おじさんのはつめいがすくおもしろかったです。ちえんじだま
でちえんじするところがおもしろかったです。(1年)

はぐるまが家になるところがすかっただです。おじいちゃんはじめ
んの中みたいないなところにしたから、どこにどあがあるのかなあと思
いました。(2年)

とてもたのしかったです。声が大きかったのです。こないあとおもいました。気持ちというとうたがながれてくるのがほしいです。なぜかというとうたがすぐだからです。(3年)

サトシとリョウタがけんかをして、あとなかなかりをしたところがよかったです。あとヘルメットのような物をかぶってかこのことが分かるなんてすごいと思いました。(4年)

リョウタとサトシはともだちだったけどけんかをしてしまった。でもごめんねとちゃんとあやまってなかなかおりをしたので、ぼくはす

とっても楽しい劇をありがとうございました！私はこのように楽し

い劇を見ると、気持ちワクワクしてきます。こんなときにあの音楽
たいがいだなあ…。なんか、ほかの世界に行ってしまったみたいで
した。私のワクワクの気持ちを伝えてくれて、本当にありがとうございます。
ざいました。！(5年)

今日「なるほ堂ものがたり」を鑑賞して、2000年後の世界はコンピューターばかりの世界になっていると聞いて、本当にそうなるかわからないけど、なっていたらやだと思いました。そうならないために、これから自分の意見はきちんと相手に伝えて、人の心を忘れない世界にしたいですね(いよいよあつきました)。(6年)

ぼくはこの演劇を鑑賞して、友達はかけがえのない存在だと思いま
 した。なぜなら友達がいないとわらったり、けんかしたりできないか
 らです。あと相談したり自分の気持ちを打ち明けられません。これか

今の子どもたちを象徴している内容を考えさせられました。でも、きつて何かあげなければ、ちゃんと自分たちで考えたり行動したりできるでしょうか。誰かが、子どもたちは今も昔も変わっていない。変わったのは子どもを取り巻く環境と言っていますが、国の子九州のお芝居を聞いて、本当にそうだと感じました。そして、子どもたちの笑い声を聞いて、ほっとしました。(おと)

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	G93	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	G	区分	A区分
公演団体名	劇団風の子九州				制作団体名	企業組合 劇団風の子九州			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数 *	1室	条件	体育館ステージが控室として使用できない場合は1室必要です。				可
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			マイクロバス1台		ワゴン車1台		不可
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			マイクロバス(長さ6.99m、幅2.08m、高さ2.63m) ワゴン車(長さ5.38m、幅1.88m、高さ2.28m)				不可
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				—
	搬入経路の最低条件			雨の場合、道具が濡れない経路が望ましい。				可
	理由			音響機材、照明機材、大道具がある為。				
	設置階の制限 *			問わないが、1階が望ましい。				可
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8		高さ	1.8	
WSIについて	参加可能人数		40名程度まで					可
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *	中学年			可	
	所要時間の目安 単位:分	85分程度(途中休憩あり)					可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				
	鑑賞可能人数			500名程度まで。				可
	舞台設置場所 *			フロア				不可

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8	高さ	1.8
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

